

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		全国基地協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名	財津公正
	施策	9	住環境の充実			所属課	総務課	担当者名	森田健二
	基本事業	23	環境衛生の充実			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10148	法令根拠	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	基地協議会は、全国関係自治体連携により国の基地対策事業に関し、他地域の取り組み、国の動向等の情報収集ほか、交付金の確実なる確保、税収の欠陥是正、都市計画上の障害に対する補償を得るための活動を展開しており、加盟する事での確実な情報収集と要望や予算対策等の意見交換の場を確保する。  自衛隊基地等がある市町村は加盟している。232都市町村(平成26年度)
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	負担金の支出及び会議への参加。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特に聞いていない
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	負担金の支出及び会議へ参加し、情報を収集することが出来た。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	負担金の支出及び会議への参加
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由	
→ア:会議の開催回数	→イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	協議会加盟団体	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位) 団体
→ア:加盟団体数	→イ:		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	情報の共有化が図られ、要望等の提出が出来る。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位) 回
→ア:要望した回数	→イ:		
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
歳入の確保充実など本市行政運営に大きく関わってくる意味でも、要望等の提出が必要である。年1回の要望を取りまとめている。			全体計画 ~ 年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ										
②対象指標	ア	団体	232	232	232	232	232	232	232	232	
	イ										
③成果指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ										
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	2	2	2	2	2	2	2	2
		(A)のうち指定経費	千円	2	2	2	2	2	2	2	2
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	1	2	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	12	24	2	9	2	2	0	0
	(B)人件費計	千円	48	95	7	35	7	7	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	50	97	9	37	9	9	2	2	

事務事業名	全国基地協議会参画事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 的確な情報収集、要望を提出する事で目標を達成する見込み。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 要望書を提出しているの、向上余地なし。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に関係機関がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の負担額である。 負担基準：均等割1千円+前年基地交付金と調整交付金合算額から100千円控除額の0.26/10001千円未満の端数は切り捨て
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の従事時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業に関する受益者はいない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 基地周辺自治体として情報を共有し、国に対して要望等を行うことは市の責務である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

国の基地対策事業に関し、情報収集をはじめ、交付金の確保、税収の欠陥是正、都市計画上の障害に対する補償を得るための活動展開の機会であり、歳入の確保充実など本市行政運営に大きく関わってくる意味でも、全国の市町村連携による活動展開は重要・不可欠。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						